



13th PRCP

13th Pacific Rim College of Psychiatrists Scientific Meeting

第13回 環太平洋精神科医会議

会期 2008年10月30日(木)～11月2日(日)

会場 都市センターホテル(東京都千代田区平河町2-4-1)

主催 環太平洋精神科医会議、日本学術会議、
社団法人日本精神神経学会、
日本社会精神医学会、多文化間精神医学会

メインテーマ「変貌する環太平洋精神医学：多文化・多職種協働の精神医学」

●みどころ

第13回環太平洋精神科医会議は、2002年に横浜で世界精神医学会(WPA)が行われて以来の総合的な精神医学に関する会議です。臨床、基礎研究、精神保健施策、多職種の協働など、さまざまな分野の研修、発表が行われます。

基調講演、教育講演、特別シンポジウム、ランチョンセミナーは、裏面のとおりの豪華な顔ぶれで行われる予定です。また、30名の海外の若手を招聘した若手精神科医の研修会も開催されます。シンポジウムでは、精神科看護のタイダルモデル、多職種協働、最新の画像診断や気質研究、卒後研修、国際共同研究、国際疫学、精神科救急、物質使用、総合病院の役割、精神医療と司法、国際精神病理、家族療法、職場のメンタルヘルスなど、幅広い発表が予定されています。ぜひ、ご参加ください。

日本精神神経学会精神科専門医資格の更新のためのポイント(C群)取得が可能です。

■□プログラム

	午前	昼	午後	夜
10 / 30(木)			シンポジウム・開会式	ウェルカムレセプション
10 / 31(金)	基調・シンポジウム	ランチョン	シンポジウム・一般	
11 / 1(土)	基調・シンポジウム	ランチョン	シンポジウム・一般	ガラディナー
11 / 2(日)	シンポジウム・一般		市民公開講座	

■□参加登録

	9 / 16 まで早期登録	9 / 30 まで事前登録	当日
医師	45,000円	50,000円	50,000円
コメディカル	10,000円※	30,000円	30,000円
学生	10,000円	10,000円	10,000円
同伴者	10,000円	10,000円	10,000円

※コメディカルの方へ朗報！ 早期登録費を特別価格に設定！9月16日まで

会長 野田文隆

環太平洋精神科医会議(PRCP)は、1980年に環太平洋地域の代表的な精神科医によって設立され、精神医学、心理学など様々な専門分野に携わる会員で構成されており、本会議の日本での開催は1995年の福岡以来13年ぶりとなります。



今回のメインテーマは「変貌する環太平洋精神医学：多文化・多職種協働の精神医学」であり、西洋で発展してきた薬物療法を、東洋の論理観、思考様式、生活様式、習慣、文化、社会、宗教、教育と、どのように融合させて進めることが、精神医療の進歩につながるかについて、活発な議論を予定しています。

日本に居ながらにして、世界のトップの専門家の講演を間近に聞くことのできる貴重な機会です。医師のみならず、コメディカルの方々、そして特に若い世代の参加を期待しています。

市民公開講座(入場無料)

[日時] 11月2日(日) 14:00～15:30

[会場] 都市センターホテル

「うつに克つこつ：自然のままに生きる」

1. うつ、パニックについての講座(グラクソ・スミスクライン(株)企画)
2. 対談 高木美保さん(女優)と香山リカ先生(精神科医)

[お問合せ先] 第13回環太平洋精神科医会議運営事務局

〒102-8481 東京都千代田区麴町5-1 弘済会館ビル
株式会社コングレ内
TEL:03-5216-5318 FAX:03-5216-5552
E-mail:prcp2008@congre.co.jp

最新情報はHPから

<http://prcp2008.org/>

● 基調講演

日英同時通訳あり

- **Allan Tasman** (President, PRCP, USA)
The Identity of the Psychiatrist in the 21st Century: Implications for the Pacific Rim College of Psychiatrists
「21世紀の精神科医のアイデンティティについて」
- **Benedetto Saraceno** (Director, Department of Mental Health and Substance Abuse, WHO, Switzerland)
The WHO Mental Health Global Action Programme
「WHOの精神保健に関するグローバルアクションプログラム」

- **神庭 重信** (九州大学大学院医学研究院)
Depression in Japan
「日本のうつ病」

● 教育講演

日英同時通訳あり

- **Norman Sartorius** (University of Geneva, Switzerland)
ICD-11 関連 (仮題)
- **Keh-Ming Lin** (National Health Research Institutes, Taiwan)
Ethnicity, Culture and Psychopharmacotherapy
「民族性、文化と精神薬理療法」
- **Xiao Zeping** (Shanghai Mental Health Center, People's Republic of China)
Trauma and Dissociation in China
「中国のトラウマと解離」
- **Trevor Young** (University of British Columbia, Canada)
Refining the Molecular and Cellular Targets of Mood Stabilizing Drugs
「気分安定薬の分子細胞ターゲットの精細化」
- **Donna E. Stewart** (University Toronto, Canada)
「女性のメンタルヘルス」 (仮題)

- **西園 昌久** (心理社会的精神医学研究所)
History and Future of PRCP—Personal Perspective
「環太平洋精神科医会議の歴史と未来」
- **武田 雅俊** (大阪大学大学院医学系研究科)
How to Cope with Increasing Elderly Dementia in Asia Pacific Region
「アジア・環太平洋地域において増加する認知症への対応」
- **岡崎 祐士** (東京都立松沢病院)
School Mental Health and Early Intervention in Psychiatry, Japan
「学校のメンタルヘルスと早期介入」
- **長尾 卓夫** (日本精神科病院協会 [高岡病院])
Reform of psychiatric care and role of psychiatric hospitals in Japan
「日本の精神科医療の変革と精神科病院の役割」 (仮題)
- **加藤 忠史** (理化学研究所)
Neurobiology of Bipolar Disorder
「双極性障害の神経生物学」

● ランチョンセミナー

*は日英同時通訳あり

- **Robert Cloninger** (Washington University in St. Louis, USA) *
Psychobiology of Well-Being
「幸せであることの精神生物学」
- **René Kahn** (University Medical Center, Utrecht, The Netherlands) *
演題問合せ中
- **Gordon Parker** (Black Dog Institute, Australia) *
Atypical Depression: Its History, Evolution and Current Positioning as a Spectrum Depressive Disorder
「非定型うつ病：歴史とスペクトラムうつ病障害としての概念の発展と現状」
- **Jun-Soo Kwon** (Seoul National University, Korea) *
Progress in Brain Imaging Research for Schizophrenia and High Risk Subjects
「統合失調症とハイリスク群の画像研究の進歩」

- **Jesse Wright** (University of Louisville, USA) *
Cognitive Behavioral Therapy for Severe Mental Illness
「重度の精神障害に対する認知行動療法」
- **樋口 輝彦** (国立精神・神経センター)
Mental Health Policy in Japan: History and Future
「日本の精神保健施策：歴史と未来」
- **石郷岡 純** (東京女子医科大学医学部精神医学教室) *
Use of second generation antipsychotic drugs in the treatment of schizophrenia
「統合失調症の合理的薬物療法—新規抗精神病薬の意義と使い方」
- **朝田 隆** (筑波大学大学院 人間総合科学研究科)
演題問合せ中

● 特別シンポジウム

*は日英同時通訳あり

- **ICD-11 Special Symposium**
「各国の ICD-10 の使用状況と ICD-11 にむけての展望」 *
司会：Norman Sartorius, 秋山 剛
演者：Soma Ganesan, Jitendra K. Trivedi, 中根 秀之, Sung Kil Min, Parameshvara Deva, Graham Mellsoy
- **ICD-11 Special Symposium**
「各国の ICD-10 の使用状況と ICD-11 にむけての展望」 *
司会：Norman Sartorius, 秋山 剛
演者：Haroon Rashid Chaudhry, Tze Pin Ng, Hai Gwo Hwu, Pichet Udomratn, Michelle Riba, 新福 尚隆
- **Improvement of Social Functioning in Autism Spectrum Disorders: from Brain Functioning to Social Support** *
「自閉症スペクトラム障害の機能改善：脳機能から社会サポートまで」
司会：加藤 進昌, Per-Anders Rydelius
演者：Per-Anders Rydelius, 金生 由紀子, Shinichi Tochimoto, Akinori Nakamura

- **Multidisciplinary team care on psychiatric care in Japan. Current status and issues.**
「日本の精神科医療における多職種チームケア—現状と課題」 *
司会：富岡 詔子
演者：手林 佳正, 式守 晴子, Phill Barker, 伊藤 亜希子
- **Leadership in Community Mental Health (CMH) Training Workshop**
「コミュニティーメンタルヘルスに必要なリーダーシップ研修ワークショップ」
司会：瀬戸屋 雄太郎, Mitsu Sado
演者：Chee Ng, 竹島 正, 伊藤 順一郎, 川村 敏明

以上のほか、日本てんかん学会、日本デイケア学会、日本精神科救急医学会、日本司法精神医学会などの国内外から公募した企画シンポジウム、地域精神保健のためのリーダーシップトレーニング、外国からの参加者を含む若手精神科医の研修プログラム、オーラルとポスターによる一般演題発表、PRCP2008アワード論文受賞者による発表など、多彩なプログラムが予定されています。